

立本 新連載

「父母の恩」



学びのページ



皆さんは「三綱五常報恩」を知っていますか？ 朝の勤行でお唱えする国土の大御恩、父母の御恩、師の御恩、社云の御恩、天地宇宙万物の御恩——この五つの御恩は、人間がこの世に生まれ、生きていく上で欠かせない根本的な恩恵です。これらすべては、神様が与えてくださる「愛」の表れなのです。私たちが日々どれほどの愛情に包まれ、生かされているのか、それを具体的に気づかせてくれるのが、金剛さまの遺された三綱五常報恩です。

皆さんの身の周りにどんな御恩があるのか、まずは一番身近な「父母の御恩」から考えてみましょう。

夏休み中も部活に励むあなたに、毎朝お母さんが持たせてくれるお弁当。「このおかずは嫌いなのに」と不満をこぼす前に考えてみて。お母さんはこのために、あなたよりずっと早起きして支度してくれました。

帰りが遅くなると、連絡が鳴りやまず、家に着くなり待ち構えているお父さんのお説教にうんざり。だけど想像してみてください。連絡がつかない間、お父さんはあなたの身を案じて、心配してくれていたんです。

少し見方を変えると、見えてくる父母の御恩がたくさんあります。それもあくまで氷山の一角。生まれてから今まで、親がしてくれたことを全部知ることなんてできません。

世間には様々な家庭があり、悲しい事件も耳にします。「親に感謝することなんて無い」と思う人も、中にはいるかもしれませんが。でも、もしあなたが何か「嬉しい」とか「楽しい」と思えることがあったなら、それはこの世に生まれることができたから感じられること。お父さんとお母さんが生んでくださったお蔭です。

学生から社会人になった時、一人暮らしを始めた時、結婚して親になった時、人生を歩む中で父母の御恩の深さは更新されていきます。折にふれて何度も考えてみましょう。

◎自分が生まれた時のことを親御さんに聞いてみよう。

◎どんな時に父母の御恩を感じるか、みんなで話し合ってみよう。